



介護はみんなで  
「お互いさま」



齋藤 登美子さん  
(新津市社会福祉協議会  
ケアマネージャー  
介護支援専門員)

社会の第一線でバリバリ働いていた人にも、やがて訪れるのが「介護」の問題。介護する立場が先か、される立場が先になるかは分かりませんが、突然にその時が訪れることもあります。

仕事を通して感じるのは、「介護は女の仕事」と思っている男性や女性がまだまだ多いことです。1人で介護を背負うのは孤独で大変な仕事ですので、ちょっとした手助けや「ご苦労さま」の一言でも、気分は全然違ってきます。

お連れ合いに先立たれて、料理や家事を一から始めた男性が、楽しみながらどんどん上達するのを見て、前向きな気持ちがあれば人はこんなにも変わっていきけるんだと感じました。いきなりオムツの交換は無理でも、ごみ出しや買い物の手伝いも立派な家事援助です。できることからどうぞ始めてみてください。そして「お互いさま」と、助け合える地域になるように、講習会などにも参加してみてください。

新津市の人口

平成14年6月30日現在(前月比)	前年同月比
男 32,516 (+29)	(+1)
女 35,127 (+3)	(+76)
計 67,643 (+32)	(+77)
世帯数 21,261 (+32)	(+336)
6月中の動き	
出生 38	死亡 38
転入 112	転出 80
結婚 29	離婚 6

立ち上がれ！バイオリサーチパーク⑧

新潟薬科大学 新津キャンパス見学会

大好評!

7月13日に開催した新潟薬科大学・新津キャンパスの見学会には、市民など約70名が参加しました。今号では、「地域に開かれた大学」として住民との交流が深められた見学会の様子をお知らせします。



はじめに応用生命科学部の高木学部長があいさつし、「学生には勉強とともに、社会人としての基本を指導している。また大学は、地域の一員として皆さんとお付き合いしたい」と述べました。この後参加者は、三班に分かれて施設を見学しました。



「バイオは将来有望な産業です」



「ビタミンCは、さまざまな機能を持っています」

この見学会では、二つの研究室が研究内容を披露しました。「応用微生物・遺伝子工学研究室」では、遺伝子の仕組みを利用した、がんなどの治療法の可能性や、バイオベンチャーの将来性について説明がありました。「食品栄養科学研究室」では、ビタミンCの働きの説明に続いて、化学的に作った食品のにおいを見学者が体験しました。



「この中庭から、市役所やビッグスワンが一望できます」

教授の案内で実習室や学生食堂、体育館などを見学した後に、参加者全員で意見交換を行いました。参加者からは、「このような素晴らしい大学が、身近にあるのはうれしい。子供や孫を入学させたい」「食品の安全性に興味がある。これからも公開講座などを開催してほしい」といった積極的な意見が出ていました。

身近な自然 豊かなカルチャー

花と遺跡のふるさと公園

新津市美術館

☎0250-25-1301  
<http://www.city.niitsu.niigata.jp/>

新潟県埋蔵文化財センター

☎0250-23-1142  
<http://www1.ocn.ne.jp/~n-maibun/>

新潟県立植物園

☎0250-24-6465  
<http://botanical.greenerly-niigata.or.jp/>